

審査の基準

審査における点数の内訳

■ 体型50点

- ✓ 全体のバランスが良く、調和がとれているか？
- ✓ 魚っぷり(骨格、体格、肉付き)はどうか？
- ✓ 曲がりや歪みなどがないか？
- ✓ 体型、各ヒレなどに不自然(違和感)な点はないか？
- ✓ 品種などの特徴を顕著に表現しているか？
- ✓ 病気になっていたり、ヒレ・鱗に品種の特徴以外の欠損はないか？
- ✓ 泳ぎ方に不自然(違和感)な点はないか？

■ 体色30点

- ✓ 発色が良く艶があるか？
- ✓ 色・艶に不自然(違和感)な点はないか？
- ✓ その品種の体色の特徴を顕著に表現しているか？

■ 魅力度20点

- ✓ 目を奪われるような魅力を感じるか？
- ✓ 作出・飼育難易度はどうか？(例:ダルマは難、普通種は易 など)
- ✓ レア度はどうか？(過去に出品された事があるか など)

各部門における審査で重視すること

■ 全体的なこと

- ✓ 普通体型としての出品で半ダルマ体型になっている個体は減点となる。同じくヒカリ体型としての出品でヒカリ半ダルマ体型になっている個体も減点となる。
- ✓ 骨や体型だけでなく、体の細さも減点となる。

■ ヒカリ部門

- ✓ 背骨が曲がりやすい体型なので、曲がっていないかを見る。背骨と尾ビレの付け根が下がる個体もいるのでよく確認する。
- ✓ 背ビレとしりビレの形や大きさは上下対称が理想。大きさが揃っていない個体は減点となる。
- ✓ 尾ビレは綺麗なひし形で、中心に線が入っている個体が理想。形が悪かったり、線の位置が上下している個体は減点となる。
- ✓ 尾ビレの先端に欠けがある個体は減点となる。

■ ダルマ、ヒカリダルマ

- ✓ 体型がより一層重視されるため、体色が並でも体型が完璧であれば高評価になる。
- ✓ 全身の縮み具合が重要なので、半ダルマは減点される。

■ スモールアイ

- ✓ 基本的に細い個体が多いため、体高があり体つきの良

い個体は評価が高い。

- ✓ スモールアイは全盲のはずなので、保護色機能が働いて体色が薄くなっているものは評価が低い。

■ 1水槽

- ✓ 10匹という決まりがあるため、個体の大きさを揃えるのが一つのハードルであり重要な要素となる。大小の差がある場合は評価が低くなる。
- ✓ 単体を見ると各部門の入賞魚よりも秀逸な個体が出品されている事もあるが、大きさの違いや、体型が悪い個体が同水槽に出品されている場合は評価が低くなる。
- ✓ 同一品種と異種の組み合わせでは、同一品種で良い個体を揃える方が難しい為評価が高くなる。
- ✓ 複数上見部門においても同様の意見になる。

■ 上見

- ✓ 上から見て曲がっている個体や体つきが細い個体は減点の対象となる。

■ ヒレ長

- ✓ 尾ビレが落ちてない個体、背中が曲がっていない個体、伸長したヒレ先が病気になっていない個体が良い。
- ✓ ヒレの長さも大切だが、一番はあくまで体型。骨曲がり等が無く、体型の良い個体が高評価となる。